

**電気学会 電気規格調査会標準規格**  
**JEC-2300-1998 正誤票 A-1**  
**「交流遮断器」**

注：JEC-2300-1998は再販(第2刷)時に、それまでにつくられた「正誤表」の内容が盛り込まれているため、AとBの2種類の正誤票を発行する。

正誤票A：1998年10月20日 第1版第1刷 の規格票に対する正誤票

正誤票B：2001年5月1日 第1版第2刷 の規格票に対する正誤票

発行日：2003年2月10日

**正誤票A-1(1998年10月20日 第1版第1刷 の規格票に対する正誤表)**

頁番	頁	箇所	誤	正
1	1	30～31行目	(13) 短絡電流遮断試験は、IEC 60056(1987)に沿って、1号、2号、3号、4号、5号とも標準動作責務にて試験するよう改訂した。	(13) 短絡電流遮断試験は、1号、2号、3号、4号、5号ともIEC 60056(1987)に沿って試験するように改訂した。
2	2	1行目	変わり	変わり
3	3	3行目	森下 恵二	後藤 裕司
4	3	4行目	吉岡 正博	坂本 正
5	3	12行目	島田 恵次	横山 寿輝
6	28	図7	(接線がずれている)	(訂正図と差し替える)
7	50	11行目	三相の平均値を下まわってはならない。	三相の平均値は定格値を下まわってはならない。
8	54	図12	( $U_1, t_1$ が不明瞭)	(訂正図と差し替える)
9	56	34行目	(10) 解説 28の(1)に基づき……	(10) 解説 28に基づき……
10	63	12行目	試験の便宜上、開路の前の無電圧で実施は省略してもよい。	試験の便宜上、開路の前の閉路は無負荷で実施してもよい。
11	64	21～25行目	O - $t_1$ - CO - $t_3$ - CO または CO - $t_0$ - CO または O - - CO - $t_1$ - CO	O 3回 (標準動作責務A, Rに対して) または O 2回 (標準動作責務Bに対して)
12	65	23行目	(11) 試験動作責務5号については、標準動作責務とする。ただし IECにならぬ3回でもよい。	(削除)
13	92	11行目	……自動的に補正される。	……自動的に補正される。(附属書2.3.3節参照)
14	92	附図17	(図中の記号U)	( $U_r$ に訂正)
15	92	附図17	(hの説明なし)	h: 第1相遮断係数(非有効接地系:1.5, 有効接地系:1.3)
16	94	20行目	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O(C'は試験の便宜上省略してもよい)
17	94	25行目	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O(C'は試験の便宜上省略してもよい)
18	94	30行目	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O(C'は試験の便宜上省略してもよい)
19	95	1～5行目	O - $t_1$ - CO - $t_3$ - CO または O および O' - - CO - $t_1$ - CO または	(削除)
20	95	7行目	O - - C'O - $t_1$ - C'O	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O
21	95	9行目	C - $t_3$ - C	C - $t_1$ - C
22	95	18～21行目	O - $t_1$ - C'O - $t_3$ - C'O または O および O' - - C'O - $t_1$ - C'O (C'は試験の……)	O 3回とする。

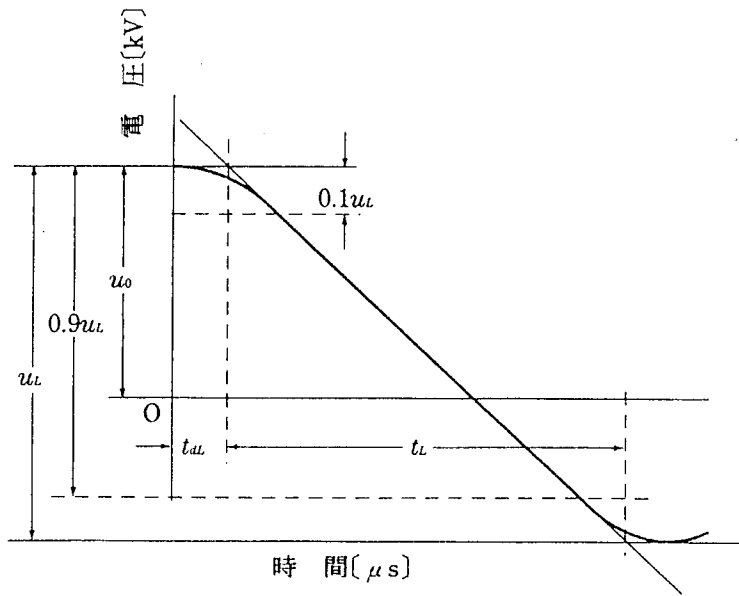


圖 7

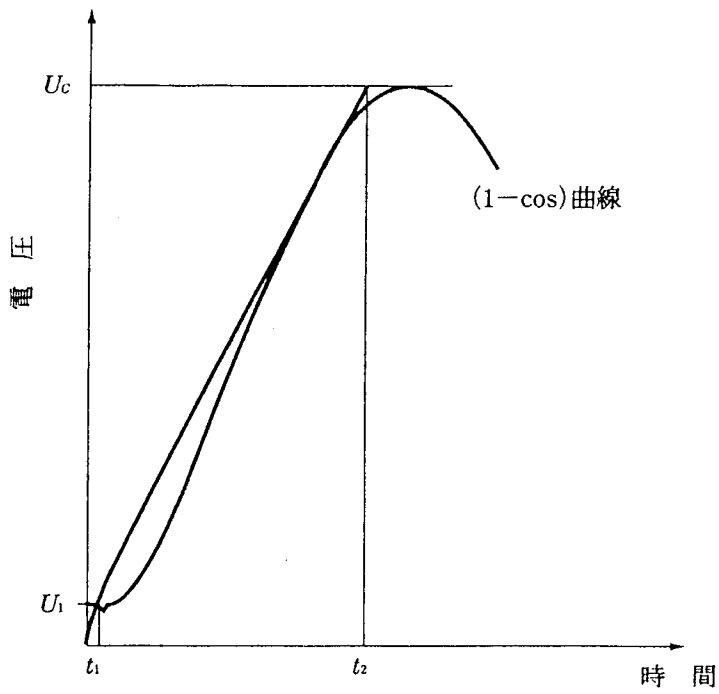


圖 12 回復電圧波形